

TAMC

会 報

令和4年9月号

Bulletin of the Tokyo Amateur Magicians Club

Sept. 2022

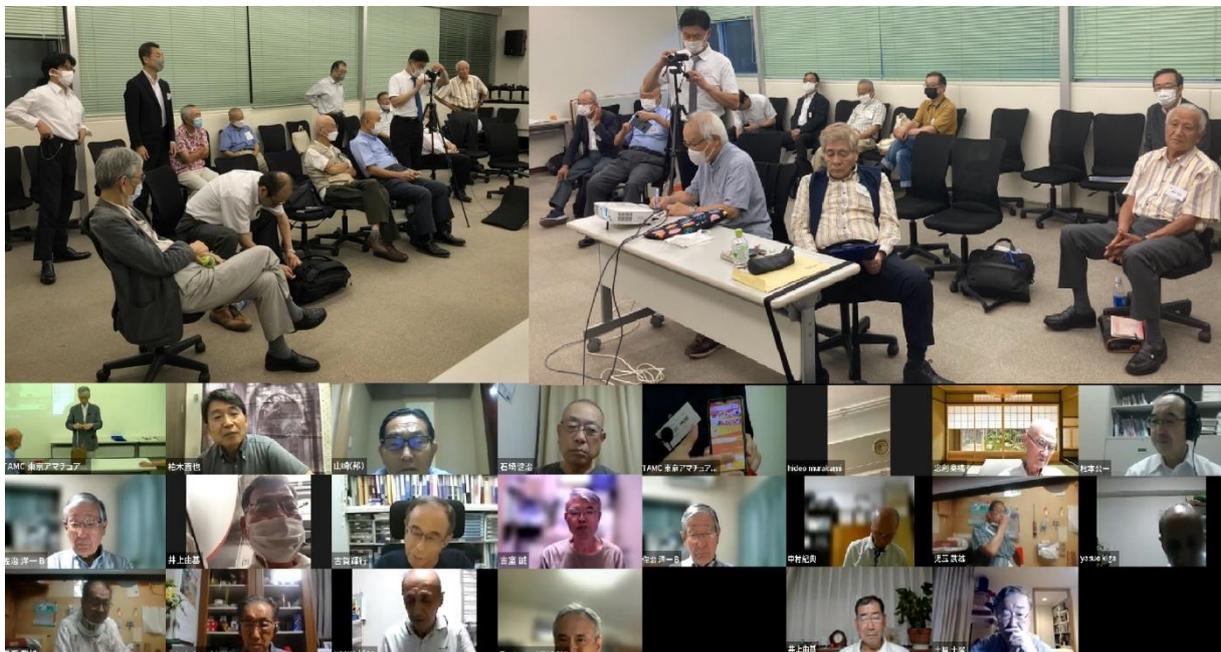
主要内容(令和4年8月)

第1例会 2022年8月4日(木) 18:00~20:00

会員発表 : 森田晃 君 村上日出夫 君 八田進二 君 松岡聡 君

第2例会 2022年8月18日(木) 18:00~20:00

会員発表 : 森田晃 君 平山祐貴 君 山崎邦宣 君 佐々木節夫 君



<8月第一例会 & 第二例会 + ZOOM参加の状況>

2022年10月の活動予定

第1例会	: 10月 6日(木) 18:00 ~ 20:00	実例会+zoom
第2例会	: 10月 20日(木) 18:00 ~ 20:00	実例会+zoom
秋の大会	: 10月 23日(日)	
土曜研修	: 中止(秋の大会に向けて、練習の為)	

◆ 第1例会 8月4日（木） 18:00~20:00

＜動画記録配信＞ <https://youtu.be/ZFaaq6FsHGA>

司会：濱谷堅蔵 君 記録：田澤利明 君

出席者 17 名（+ZOOM 参加者 13 名）

司会者：濱谷堅蔵君→

P. 3



1. 会員発表

1) 森田晃君 「MMTP 出品予定のマジック披露」 P. 4

- ① Dean's Box
- ② カードマジック1「サイドウオーク・シャフル」（原案：マーチン・ルイス）
- ③ カードマジック2「裏は全部ウサギ」（原案：カッパーフィールド）
- ④ カードマジック③「長〜いハートの9」
- ⑤ 破いた新聞紙の復活
- ⑥ Wild Animal Racing



2) 村上日出夫君 「マジック2題」 P. 5

- ① 客が選んだカードが消えるマジック
- ② チェンジボックス



3) 八田進二君 「コロナ禍で製作したギミックと、メンタルマジック2題」 P. 8

- ① マスクの貫通マジック
- ② 缶コーラの缶と、グラスの斜め立ちのマジック
- ③ コロナ禍で製作したギミック（ペットボトル）を利用したマジックストローによる、ペットボトルの浮揚（2種）
- ④ ワインコルクを握りしめている観客の手を読み取る「Vino Sense（連続透視）」
- ⑤ カバー付きのメモ帳に記載された、簡単な絵や文字を瞬時に読み取る、メンタルマジック



4) 松岡聡 君 「予言のカード3種類」 P. 11

- ① 予言の封筒に入った3枚のカード。観客が選ぶ1枚のカード当て
- ② 封筒に入った4枚のカード。観客が選ぶマーク当て
- ③ 裸の王様（4枚カード。B' Wave のウィザードイン版）



◆ 第2例会 8月18日(土) 18:00~20:00

<動画記録配信> <https://youtu.be/MH64ew12XBY>

司会：長田誠彦君 記録：田澤利明 君

出席者18名 (+ZOOM参加者9名)

司会者(長田誠彦君) →



1. 名誉会員(尾崎教弘君)表彰 P.13

2. 会員発表

1) 森田晃君 「MMTP 出品予定のマジック披露」

P.14

- ① Twin Dice
- ② 陽気に神田祭り
- ③ 雨の日のパーティ
- ④ 靴下が見れる20世紀シルク
- ⑤ アニマルカードの不思議



2) 平山祐貴君 「近況報告とスマホを使ったマジック2題」

P.15

- ① 魔法のフォトグラフ by Higar(テンヨー)
- ② スマホイリュージョン(テンヨー)



3) 山崎邦宣君 「自己紹介・マジック歴とマジック演技披露」

P.16

- ① パペット人形を使った子供向けの演技紹介
- ② マジック
(ア)水入りガラスの幻想(UGMの製品)マジック演技
- ③ 私が大事にしている「教育キーワード4点」の紹介



4) 佐々木節夫君 「“A Curious Card”紹介と大会プレリハーサル」

P.18

- ① “A Curious Card”Jerry Andrusによるカードの出現方法
- ② “A Curious Card”Jerry Andrusの本の紹介
- ③ 秋の大会のプレリハーサルとして「FISM '94ルーティン」<デッキの色変化、トライアンプ、ワイルドカード>
- ④



3. 連絡報告事項

阿部徳蔵『とらんぶ』新装改訂版刊行について

梶田明宏君

P.20

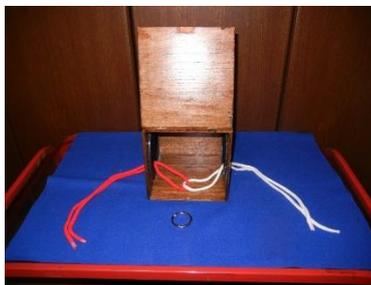
◆ 会員発表

1. 森田晃 君 「MMTP 出品予定のマジック披露」

[00:02:25](#)

今回も森田の作品を幾つか紹介した。9月のMMTPに出品予定である。

1) 「Dean's Box」(A16-39)



5月の例会で「トライアングル・ホール」という題のマジックを紹介したが、それは平面な三角形を使ってロープが絡まったり外

れたり輪に通ったりする現象を見せるものであった。この「Dean's Box」は箱を使って「トライアングル・ホール」と同じ現象を立体的に見せるものである。UGM商品(57, 200円)を真似て自作した。

2) 「サイドウオーク・シャフル」(A17-23)

3枚のblankカードと1枚のAceを使って、お互いが入れ替わる現象を見せたあとで、最後はblankカード1枚とAceが3枚になる。昭和52年に来日したマーチン・ルイス氏から高木重朗さんが教わったものを例会で紹介した。



3) 「裏は全部ウサギ」(A01-35)

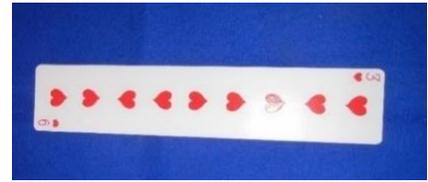
最初に8種の動物のカードから好きな動物を1種選んで貰う。次に8種の動物が裏表に沢山描かれた紙を数人の客に渡して、縦横3本ずつの線に沿って好きなように16分の1の大きさに折り畳んで貰う。そして折り畳まれた紙の周囲を鋏で切って16枚の紙片にすると、全ての客の全ての紙片の絵が最初に選んだ動物「ウサギ」になる。

原案は1999年にデイビッド・カッパーフィールドが来日して行なったもので、デザインを動物の絵に変えて改案したものである。犬竹さんは絵柄を漢字にして最後に全部「友」の字が揃う形で演じている。



4) 「長〜いハートの9」(A02-30)

デッキから客にハートの9をフォースして「貴方のカードを予見しておきました」と云ってポケットの中のカードの一部を見せるとハートの3である。当然客は「違う」と云うが演者がカードを全部引き出すと長いハートの9なので、演者の予見が当たっているコミック。



5) 「破いた新聞紙の復活」(A03-53)

破いた新聞紙を復活させるマジックには色々なやり方があるが、最後に新聞紙が一瞬に復元する見事さが本マジックの特徴である。平成12年の例会に来たゲストのマーカ・テンドーが紹介した方法である。



6) 「Wild Animal Racing」(A16-40)

ダイスを振って客に6匹の動物のコースを決めて貰い、折り畳まれたレーンを広げて行くと5匹の動物は障害に阻まれて1匹だけ無事にゴールするが、その勝者が予め予想されている。6匹の動物のレースのマジックを紙芝居風に製作したもので子供会用に製作した。外部から購入した道具類を多く持参して、300円均一で販売した。



2. 村上日出夫君 「マジック2題」

00:35:15

1) 客が選んだカードが消えるマジック

<初めに>

10年位前に当会員だった岩野さんから手軽に出来る1枚のマジックカードを貰いました。それは、トランプの絵札が

表には(♥Q、♠K、♣Q、♥J、
♦K、♣J)、

裏には5種類(♣Q、♠J、♦Q、
♣K、♥K)

印刷されているカードです。

この使い方は、まず客に表面を見せて、どれかのトランプをひとつ覚えて貰います。「覚えてもらったトランプを飛ばします」と言っ、カードを両手で挟



んで息を吹きかけ、裏面を見せて、客が覚えたカードがなくなっているのをびっくりさせるものでした。(写真参照)

この手法を使って数人を対象にしたサロンマジックで演じたら面白いのではないかなと日頃考えていたところ、テレビでこれに近いマジックを演じているマジシャンがいましたので、早速ビデオに収め、タネを考え、コピー機を使って製作し、今年の家族会で演じました。それを例会で紹介いたしました。

<演技内容>

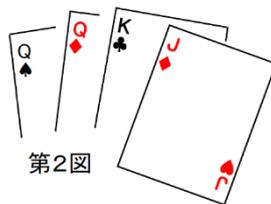
- ① カード 5 枚を第 1 図の様に表面を広げて観客全員に見せ、「皆さん、どれか好きなカードをこの中から覚えて下さい。」その後「覚えましたね」と言って表面を術者側に向け



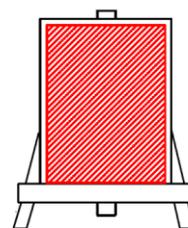
第1図

- ② 「それでは皆さんが覚えたカードは、これですね」と言って、術者は1枚裏向けにして抜き、それを机上にあるイーゼルに立て掛けます。(第4図)

- ③ 残りの4枚の表(第2図)を観客に見せます。自分の覚えたカードがなくなっているの、観客の皆さんは、イーゼルにあるカードかな?と疑問に思うことになるでしょう。



第2図

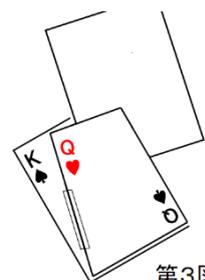


第4図

- ④ そこで術者は、おもむろに裏向けて立て掛けたカードを観客に見せると印刷されていないカード(ブランクカード)が示され、「皆さんの思ったカードは、どこかに消えてしまいました」で終了となります。

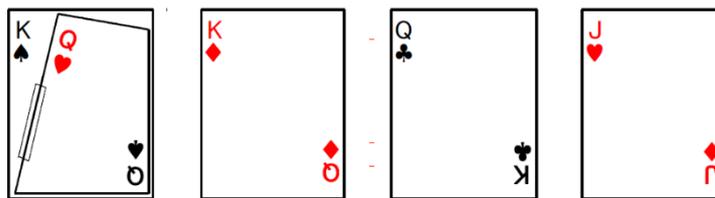
<解説>

第5図の様な形でコピー機を使って細工します。最後に出すブランクカードは、第3図の如く挟み込む様にします。最初に第1図の様に表面を広げて観客の皆さんによく見せたら、カードを閉じて、表面を術者側にする際、カード全体を反転させます。反転させることで、第1図で見たカードと違った、似たような種類のカード第2図が術者側に登場します。この中から選ぶ様に見せかけて、実はブランクカードを抜き裏向きにしてイーゼルに置きます。開いた状態で表面をそのまま観客に見せます。



第3図

この後は、演技内容の通り演じてマジックは終了となります。



第5図

2) チェンジボックス

<はじめに>

12年前に出張で中国に行った際、お土産に高級茶を貰ったのですが、その入れ物の箱が妙に気に入ったので、この箱を使って何かマジックが出来ないかを考えて作ったのがこの作品です。(写真参照) この箱に入れた紙幣やカードが消えたり、入れ替わったりすれば面白いのではないかと考えて、磁石と鉄板を使って蓋に細工をして作ってみました。



箱の大きさは225×300×80 (mm) だったので、カードを使った演技としては、大きすぎですが、老人ホームにおいて一万円札 10枚を空の箱から登場させる演技をしたところビックリしていました。例会では、カードを使って次のような演技を致しました。

<演技内容>

①まず、カードを取り出し、リフルをして客にストップをかけて貰い、その1枚を取り出し術者は見ないで客に渡し、客も見ないで胸に裏向きにして抱いて貰います。

②「予言としてこの箱の中にいま選んだカードと同じものが入っています」と言って、箱の蓋を開けると、裏向きにカード1枚が入っています。③客と一緒にそれぞれの裏向きになったカードと一緒に表向きにしてみます。すると、選んだカードと箱の中のカードが違っていました。失敗と思わせました。

④術者は、「予言が違ってますね」と言って、箱に入っていたカードを取り上げ破って箱に入れ、蓋を閉めました。

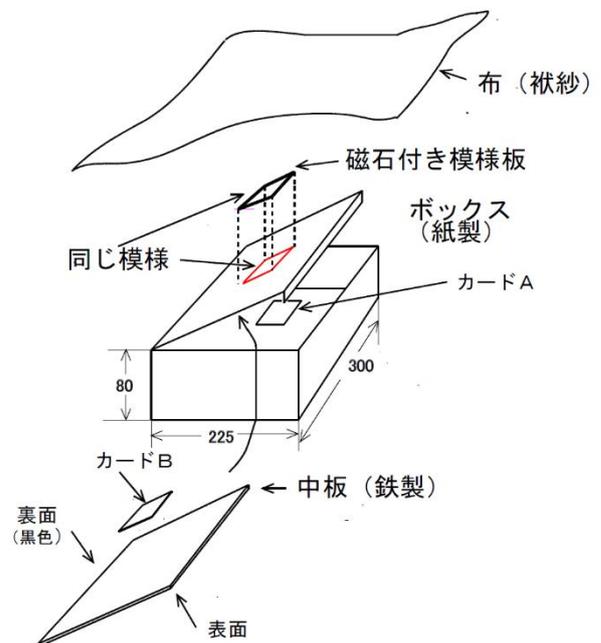
⑤術者は、紫色の袱紗(布)を箱の上にかぶせ、おまじないをして袱紗を取り、蓋を開けて中を見ると破ったカードが、1枚のきれいなカードになっており、裏向きに入っていました。

⑥そのカードの表をみると、客が選んだカードと一致しました。



チェンジボックス(村上作品)

布をかぶせて模様板を取ると、カードAがカードBにすり替わる箱



<解説>

チェンジボックスの仕組みは、図に示したとおりです。箱の蓋に仕掛けがあります。原理は、この蓋の裏面に鉄板で作成した中板があり、これを蓋の表から磁石を使って落ちないように止めていますので、磁石を取り除くと中板は、箱の底に落ちます。中板の片方(表面)

には箱の裏蓋のデザインと同じとし、他方（裏面）には底のデザイン（黒）と同じとします。

これは、中板が落ちる前と落ちた後で箱の中のデザインを変えないために 行ったものです。タネの仕込みとして、カードBを箱の裏蓋と中板の間に挟み、表から磁石を使って中板を固定し、箱の中には、カードAを入れて置きます。（図面参照）磁石を外すと中板が落ちますので、カードAが隠れてカードBが登場します。蓋の表面ですが、ちょうど真ん中に四角（90×90mm）で囲ってあるお茶碗のデザイン（写真参照）なので、その部分と同じデザインの板（模様板）を作り、その裏に薄型の磁石を取り付けました。

模様板がある場合とない場合で違和感をもたせない様に工夫をしました。この模様板は、袱紗（布）をかぶせて取り除くことにより、箱内部の中板が動いて、カードがチェンジ出来ることとなります

<応用>

チェンジボックスを使ってお金を出す方法で最も効果のあるのは次の通りです。仕掛けとしては、中板と箱の裏蓋の間に1万円札10枚を並べておきます。中板を表からの模様板で固定します。これで準備が完了です。

ここからは不思議さを出すために、術者は箱に触れない様にします。客を呼び、箱の蓋を開けて貰い、空であることを確認します。観客にも見せて貰いましょう。客に蓋を閉めてもらいます。少し時間をおいて、再度、客に蓋を開けて貰い、空であることを確認させても面白いでしょう。次に、術者が、紫色の袱紗を箱の上にかぶせて、おまじないをかけ、袱紗を取ります。その後、客が、蓋を開けると、1万円札が10枚箱の中から現れます。一同、ビックリです。

3. 八田進二君 「コロナ禍で製作したギミックと、メンタルマジック2題」

[00:47:02](#)

今回の発表は、3年ぶりということもあり、現象のはっきりした短時間での演目を複数演じることとした。

1) マスクの貫通マジック

使用していたマスクを外し、2つ折りにした状態のマスクの間にペンを挿入して、2つ折りにした個所から、ペンが貫通することを示す。ペンを抜き取った後、そのマスクを広げて見せても、どこにも穴は開いていないことを示す。これは、マスクの上半分に、同一のマスクの上半分を切断したものを、左右の個所で張り付けて作成したマスクを使用している。



2) コーラの缶とガラスの斜め立ちのマジック

未開封のコーラ缶を開封し、中身を3分の1程度残して、あとは、ガラスに移し替えておく。中身の入ったコーラ缶を、平らなテーブルの上で斜めの状態でバランスを取りながら静止させると、上手く斜めに断たせることができる。(ただし、これはマジックではなく、缶の底が斜め立ちできるような作りになっていることから、誰でも行うことができる。)

その後、ガラスに入っているコーラを、そのガラスの半分程度の量を残したうえで、コーラ缶と同様に、斜め立ちさせて見せるマジックを披露する。

なお、このガラスについては、ガラスを削ることのできるダイヤモンドヤスリで、ガラスの底の部分を4分の1程度の範囲にわたって、斜めに削って、コーラ缶と同様に斜め立ちするように加工したものを使用しているが、観客には気が付かれることはないため、大変不思議に見える。



3) コロナ禍で製作したギミック(ペットボトル)を利用したマジック

(ア) ペットボトルのキャップの貫通

空のコーラのペットボトルのキャップを外し、左手にペットボトルを持ち、右手に持ったキャップをボトルの下から打ち付けると、キャップが、ボトルの中に貫通するというマジック。これは、予め、ボトルの中に、マグネットを仕込んだキャップを入れておき、同じくマグネットを付着させた後で、ラベルを元通りに戻すことで、ボトル内のキャップがマグネット同士でくっついたままで、隠されていたものを、ボトルの底を強くたたくことで、中のキャップがマグネットから離れて、恰も、ボトルの中に貫通したかのように見えるマジック。右手のキャップは、パーム状態にして、ポケットにしまってしまう。

(イ) ペットボトルの500円玉の貫通(その1)

左手に持った空のペットボトルの中に、右手に持った500円玉を、ボトルの真ん中あたりから、ボトル内に投入するマジック。これは、ボトルに巻かれたラベルの下の部分を水平に、3センチほど切れ目を入れておき、切れ目のすぐ上のラベル部分を左手の親指で中に押し、空間ができた個所から、右手の500円玉をボトル内に投入して、実際に中に入ったことをボトルを振って示す。



(ウ) ペットボトルの500円玉の貫通(その2)

左手に持った空のペットボトルの中に、右手に持った500円玉を、ボトルの底を叩きつけて、実際にボトルの中に投入するマジック。

これは、ペットボトルの底の部分を、2センチほど残す形で、丸く円を描くように切り込みを入れておき、右手に持った500円玉をこの底の部分に勢いよく



叩きつけると、実際に 500 円玉がボトル内に投入される。投入後に、底の部分は元の状態に戻っているため、観客に向けて底の部分を見せても、種は分からないため、とても不思議に思われる。

(エ) 密閉したペットボトルのキャップより、ストローの貫通

左手に持った空のペットボトルに、右手に持ったキャップをしっかり締めた後、右手に持ったストロー(ないしは、細いペンなど)が、ノーカバーでキャップの上から、ゆっくりと、ペットボトルの中に入っていくマジック。

これは、「シュレディングー」と題して売られているトリックで、実際には、自分で、ペットボトルのキャップを加工して製作したギミックを利用したものである。



(オ) ストローによる、ペットボトルの浮揚

キャップを外した、空のペットボトルを左手にもち、右手に持ったストローをボトルの中に挿入したのち、ゆっくりとストローを引き上げて左手を話すとペットボトルが浮揚するマジック。これは、ラベルの剥がせるペットボトルを使用することで、ボトルの真ん中あたりに、テグスを貫通させてボトル内では、ピンと張りつめた状態の仕掛けを作っておく。一方ストローは、下から3分の1くらいの個所に、一か所、小さく切れ目を入れて、このテグスをひっかけて持ち上げられる状態にしておき、テグスに引っかかったことを確認して、ストローで、ボトルを持ち上げて浮揚させる。



終わったら、ストローを少し下げて、引っ掛かりの個所を外して、そのまま、ストローだけをボトルの中から取り出して演技を終わる。

(カ) 密閉した大きなペットボトルへの、懐中時計の挿入

左手に持った大型のからのペットボトルを見せ、キャップを外したうえで、右手に懐中時計を持ち、ペットボトルの口あたりに徐々に垂らしながら、次第に、ペットボトルの中に入ってしまうマジック。

これは、ペットボトルの上の辺りをくりぬく形で投入口を作り、そこから、懐中時計を投入するが、その切れた個所を左手で隠して、懐中時計が中に入ってしまったことを客に見せる。



(キ) 密閉した大きなペットボトルのキャップからストローの貫通 (SKYCAP)

左手に持った大型のからのペットボトルを見せ、白色のキャップを見せ、その上に、真ん中に十文字の切れ目の入った黒の紙を載せて、その切れ目の部分から、観客に、ストローをゆっくりと入れてもらい、すべて投入した段階で、この黒い紙を外して、最後に、白いキャップを上からたたい



てもらおうと、ストローが、完全にボトル内に落ちて投入されたことがわかるマジック。

これは、「SKYCAP」の名の下で販売されているギミックで、白いキャップに仕掛けが施されているが、実際に手に取って調べて貰うことができる。

4) ワインコルクを握りしめている観客の手を読み取る、メンタルマジック

観客にワインコルクを渡し、演者が後ろを向いている間にどちらかの手に握ってもらい、振り向いた演者は観客がどちらの手にコルクを握っているかを 100%の確率で繰り返し当てることのできるマジック。

これは、「Vino Sense(連続透視)」との名で販売されているトリックであり、メンタルマジックとしての要素を持ったものである。

5) カバー付きのメモ帳に記載された、簡単な絵や文字を瞬時に読み取る、メンタルマジック

観客に簡単な絵や文字を考えて貰い、それを、予めテーブル上においたメモ帳に書いてもらう。書いたら、メモ帳の表紙を即閉じて見えないようにしてもらう。この間、演者は後ろを向いている。観客の合図で演者は前に向き直り、テーブルに置いてあったスケッチブックを取り上げ、観客のイメージを読み取りながら、そこに書いていき、それを観客に見せた後、観客がメモ帳に書いていた絵や文字と完全に一致していることを確認するマジック。



これは、「テレソート・パッド(透視パッド)」の名で販売されているトリックであり、メンタルマジックとしての要素を持ったものである。

4. 松岡聡 君 「予言のカード3種類」

[01:12:25](#)

1) 予言のカード 3種類

①予言の封筒に入った3枚のカード。観客が選ぶ1枚のカード当て

- ・「予言」と書かれた封筒に3枚のトランプ（ダイヤ、クラブ、ハート）が入っています。
- ・演者が封筒から3枚のトランプを出して、観客に広げて見せます。
- ・観客に1枚のトランプを選んでもらい、そのトランプが選ばれるであろうことを最初から予言していた、というオチです。
- ・3枚のうちどのトランプが選ばれてもそれが選ばれると予言していた、ということを示せるような仕組みになっています。
- ・単純かつ簡単なマジックですが、マジックを知らない人にはとても驚かれます。



②封筒に入った4枚のカード。観客が選ぶマーク当て（マジックファンタジア、Ultimate B' wave）

- ・ファンタジアで販売されているマジックです。サロンマジックとしてピッタリです。仕掛

けがよく考えられていて、演者のストレスがとても小さいです。

- ・封筒の中に4枚のセミジャンボトランプ（ダイヤ、クラブ、ハート、スペード）が入っています。
- ・演者が観客にトランプは4つのマーク（スーツ）あることを説明し、観客に好きなマークを一つ選んでもらいます。
- ・その後、演者が封筒から4枚のトランプを出して、封筒が空になっていることを示します。
- ・そして、4枚のトランプを広げると、演者が選んだマークのトランプだけが表向きになっています。
- ・更に、そのトランプだけが裏の色も違います。（二段オチ）



③裸の王様（4枚カード。B' Waveのウィザードイン版）

- ・有名なパケットトリック”B' Wave”をベースにウィザードインが「裸の王様」のストーリーを付けたバージョンです。
- ・とても不思議で、ストーリーもあって面白く、観客にうけること間違いなしです。
- ・パケットから4枚のトランプ（4種類のマークで全てがK）を出して、テーブルに重ねて置きます。
- ・観客に「今日は裸の王様にまつわるマジックをお見せします。裸の王様のお話をご存じですよ？見えないものが見えるお話ですので、お客様の想像力が大事です」と説明。
- ・机から4枚のトランプを取り上げる動作（ふり）をしながら、空中で広げます。
- ・その4枚のトランプを2枚と2枚に分けたうえで、右手を左手にどのマークがあるか聞きます。どんな答えでもそれが「正解」です。
- ・観客に好きな片方の2枚の方を選んでもらい、ハートのKがある方の2枚を残して、もう片方の2枚を机に置きます。（1度目のマジシャンズ・チョイス）。
- ・残った2枚から「1枚を戻したいのですが、どちらを戻しますか？」と2度目のマジシャンズ・チョイスで「ハートのK」を最後に残すようにします。
- ・そしてテーブル上に重ねて置いてある4枚のトランプを広げると、ハートのKだけが表向きになっています。
- ・更に、そのKは顔を隠していますので「裸の王様が恥ずかしくて顔を隠しています」と説明します。
- ・更に、そのKだけが裏が違う色（赤色）であることを示し、更に、他の3枚の表は真っ白（ブランク・フェイス）であることを示して「裸の王様が恥ずかしさのあまり顔が真っ赤になってしまい、頭が真っ白になってしまいました」というオチです。



2) Money Game (株フォーサイト)

- ・よく考えられたとても面白いマジックです。お金を使いますし、賭けの要素がありますので観客の注意を引き付けられます。大うけ間違いなしです。また、セルフワーキングですので、演者にとってストレスゼロです。
- ・観客の一人から 100 円玉を借ります。
- ・このゲームは観客にとってとても有利な(賭け)ゲームであることを説明します。100 円より小さなお金は 10 円だけで、最大 1 万円になり得ます。
- ・1 万円、5 千円、千円、500 円、100 円、10 円の 6 種類のお金を番号 1～6 の好きな場所に観客に置いてもらいます (決めてもらいます)。
- ・その後は、「点からの指示書」の通りにお金を動かしたり、よけたりしていきます。
- ・途中で観客が選択できる動きもあります。
- ・最後に残るのは必ず 100 円か 10 円のどちらかです。即ち、観客は勝てません。
- ・最後に 100 円が残った場合は「残念でした。大きなお金にはなりませんでしたが、お客様の 100 円はちゃんと戻ってきました」という感じで演技を終わります。
- ・最後に 10 円が残った場合は、10 円を観客に返すわけにはいきませんので、私の場合は最初から 10 円玉を WX にして演技します。そして、10 円玉を観客の手のひらで 100 円玉に一瞬で変化させてから 100 円を返すようにします。



第 2 例会

8 月 18 日 (木) 18:00~20:00

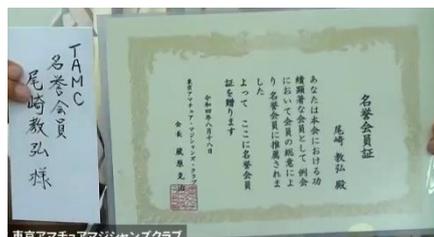
司会 長田誠彦 君

◆ 名誉会員 (尾崎教弘君) 表彰

蔵原会長、八田幹事長

[00:01:51](#)

1942 年 8 月 18 日生の尾崎教弘君が 80 歳を迎えられ、名誉会員証が蔵原会長から授与されました。



◆ 会員発表

1. 森田晃 君 「MMTP 出品予定のマジック披露」

[00:03:56](#)

今回も森田の作品を幾つか紹介した。
9月のMMTPに出品予定である。



1) 「Twin Dice」(A16-04)

客と演者が4色のダイスを お互いに見せないで筒の中に積み上げると、積んだ順番が一致しているという現象を発表した。これは蔵原さんが韓国FISMに行ったときに2万5千円で入手して平成30年9月の例会で紹介したもので、これを約2000円で自作した。現在セオマジックでは10,450円で売られている。



2) 「陽気に神田祭り」(A16-07)

2本のロープに5枚のシルクを結び付けて2本のロープを引くと、5枚のシルクが結ばれたままロープから外れると云う「神田祭り」のマジックを、「陽気(容器)に神田祭り」と云うタイトルで透明な容器の中で行うことで新しいマジックの形として発表した。ロープの仕掛け作りはダーク広和プロが2010年の研修会で紹介したやり方で行ったが、今回の発表後に田澤君から より簡単な方法を教わったので、その方法を「陽気に神田祭り」の森田ノートに記載しておく。



3) 「雨の日のパーティ」(A01-09)

10人の女性が持参した傘がパーティの間に1本盗まれるが、10人の女性は全員1本ずつ傘を持って帰宅することが出来ると云う現象を発表した。これは以前に新年会で配られた「奇術師とシルクハット」と云うマジックを改作したものである。

「奇術師とシルクハット」は奇術師9枚、シルクハット9枚、奇術師とシルクハットのダブルフェイス1枚の計19枚で演じるので裏を検めることが出来ないが、「雨の日のパーティ」は女性10枚、傘

10本の裏表全部を見せて演じることが出来る。



4) 「靴下が現れる20世紀シルク」(A17-20)

2枚の緑色のシルクを結ぶと結び目に色違いのシルクが現れる有名な「20世紀シルク」を行ったあとで、2枚の青色のシルクを結ぶと結び目にシルクでなく靴下が見えて現



れると云うコミックマジックを紹介した。「20世紀シルク」は有名なマジックだが、平成10年頃には多くのプロが靴下ではなく、ブラジャー、パンティなどを現わして演じている。靴下を現わすのはTAMCでは奥井さんの得意芸だった。

5) 「アニマルカードの不思議」(A17-06)

5種類の動物のカードを客に渡す。そして自由に混ぜて貰ったあとで5種類の中から好きな動物を1匹選んで、その動物のカードがトップから何枚目に在るのかを記憶して貰う。そうしたら演者は5枚を返して貰って、混ぜて客が選んだ動物が何処にあるのか、客にも演者にも分からないようにする。しかし最後に客が演者には見せないで、最初に記憶した枚数だけカードをトップからボトムに回して貰うと、客が選んだ動物は必ず5枚の中央になるので、客が選んだ動物を当てることが出来る。セオ商品(1430円)を真似て自作した。今回の発表は森田のハンドルミスで結果が得られなかったので次回再発表したい。



2. 平山祐貴君 「近況報告とスマホを使ったマジック2題」

00:36:00

今年2月のZOOM例会で司会をさせていただいた時以来でご無沙汰しております。前回の水槽マジックも含めて3回目のマジック披露になります。今後も上達に向けてがんばります。コロナ禍、自宅での仕事になって人と話すのが苦手になり声も出なくなりました。実家にも2020年1月以来、帰っていません。



最近、身近なお札を使ったマジックをやって欲しいと言われることがあります。私は、普段は便利なスマホでピッとやる方が楽ですから、お金を持ち合わせていないのです。そこでみんなが持っているスマホを使ったマジックをおぼえることに致しました。そこで、本日は最近覚えたマジックを2つご紹介します。

1) 魔法のフォトグラフ by Higar (テンヨー)

<https://youtu.be/US7r1CCQeDg>

- ① 世界各国の都市名が書かれたカードをならべる。
- ② カードを裏返しにしてまぜる。
- ③ お客様に半分ずつ選択してもらい、最終的に一枚のこす。
- ④ 真っ黒なネガをとりだし、スマホで撮影すると、写真中のネガに風景が映る。
- ⑤ 残りのカードが風景と関係ある都市であることがわかる



2) スマホイリュージョン (テンヨー)

https://youtu.be/cx1h_Aq07DY

- ① ハンカチとスマホを準備する
- ② ハンカチをスマホに当てておまじないをかける
- ③ ハンカチがスマホを貫通する



3. 山崎邦宣君 「自己紹介・マジック歴とマジック演技披露」

[00:48:15](#)

1) 自己紹介 学校法人白菊育英学園 理事長

今日は、8月生まれの上野邦宣です。誕生月ということで年1回の発表を久しぶりにさせていただきます。明後日で73歳になります。新しい会員の方がいらっしゃいますので自己紹介を交えてマジック履歴の紹介をいたします。私がマジックにハマったきっかけは、30年以上前になります。デパートのマジック売り場でデイルーの演技を見て、マジックを子供たちに見せてあげたらきっと喜んでくれるに違いない。是非学んで演じられるようになりたいと思ったのが始まりです。それからマジック用語を買っては、解説書を読んで学び幼稚園の誕生会、クリスマス会などで演じるようになりました。しかしながら一人ではレパートリーも広がらず、技術も未熟で限界を感じていました。そんな中、市川でボランティアマジックをしている持永さんをご紹介頂き我が幼稚園、子供会で見せてもらいました。そして私と親しくしている園長仲間にはマジックを教えてもらうようになりなした。そんなことから数年後TAMCをご紹介頂き山本玄一さん、持永さんお二人に推薦人になって頂き入会させていただきました。それが1999年のことです。ですから会員歴としては、既に23年目に入りましたが、長いばかりで自慢出来るマジックはなにもありませんが、小さい子供たちにわかりやすいマジック、不思議だな、楽しいなと感じてもらえるマジックを基本・コンセプトに探して演じてきました。そうした中で今日は、幼稚園の子供たちに見てもらっている「ペット人形を使った演技紹介」と「マジック2題」を紹介させていただきます。



① シルクハットクイズ (ハット中にある動物はだーれ?)

シルクハットをもって登場、中に動物がいます。さて誰かな? いろいろ思った動物を言ってもらってから1から4までの例の動物を挙げ答えてもらう。(回答は、ウサギの耳が付いた帽子をかぶったくま) 色々答えてもらってからヒントを出す。耳だけ出してさてだーれ? ウサギ。違います。くまさんでした。



- ② ドラえもん紹介（ドラえもんのパペットを抱いて腹話術で術者とドラえもんとのやりとりを楽しんでもらう。
- ③ ブーブーファニーモンキー（UGM の製品）

紙袋を持って登場、紙袋からカードケースを取り出し、中からデッキを取り出す。カードケースはテーブルに置く。デッキの表を見せればばらであることを見せたら、観客にフォースしたカードを覚えてもらい、よくシャフルしてもらってからデッキを受け取り、テーブルに置く。サルのアシスタントを使いカード当てをする説明をする。カードをバラバラにして袋の中に入れる。カードケースも袋の中に入れる。サルのしっぽを持ち逆さの状態で袋の中に入れる。（サルの手にマグネットが付いている。）1 回目は、カードケースを引き当てる。2 回目は、バナナを引く、3 回目に見事に観客の選んだカードを引き当てて終わる。（それぞれマグネットが内蔵してある）袋の中の底には、蓋付きの箱がある。サルと術者とのやりとりを楽しんでもらう。



2)マジック紹介

- ①ラテックスボトル（UGM の製品）

右手にボトル、左手に陶器製コップを持つ。ボトルからコップに水を灌ぐ。コップを置きボトルにおまじないをかける。ボトルからシルクが次々と出現する。ボトルに新聞紙を巻く。おまじないをかけて二つに割ると中からくす玉が出現して終わる。（種…ボトルの入り口に水が入った容器がある。最後は逆さにして容器ごと陶器製ボトルの中に入れてしまう）



- ⑥ 水入りグラスの幻想（UGM の製品）

袋を見せて中に何も入っていないことを確認しておく。小さい透明グラスにジョッキからミルクを入れる。左手で袋を持ち、袋の中に右手で持ったグラスを入れる。右手を袋から出した時、ミルク入りグラスがなくなっている。袋を裏がして見せてもグラスはない。

次に袋に空中で何かをつかみ袋の中に入れる動作をすると中からグラスが出現する。

（種…袋たまごの袋を使う。透明グラスの蓋になるさいずのスポンジボールを袋の中にあらかじめ隠して置き袋の改めをする時は、見せないようにパームする。）



最後になりますが、園長を長い間勤めていた経験から私が大事にしている「教育キーワード4点」をお話しさせていただき終わります。

1. 感性を育てる。(綺麗な花を見て、絵本を見て、音楽を聴いてきれいだな、楽しいな、悲しいなあ・・・と素直に感動する心)
2. 好奇心を育てる。それも科学に対する好奇心を呼び起こすことが出来ればと思っています。
3. 意欲と根気を育てる。何かをやってみたい意欲・そのことをやり続けていく根気です。
4. 忍耐・我慢する力を育てる、ことです。

4. 佐々木節夫君 「A Curious Card」紹介と大会プレリハーサル

01:10:06

私事ですが、この8月で還暦の誕生日を迎えました。今月末で職場も定年、9月からは別部署に移動で、責任のない立場となり、少しは自由な時間が増えるんじゃないかと思っていました。しかし、蓋を開ければ、現状3部署兼務と言う立場になってしまいました。

自由な時間が減り、さらには給料も減るといふなんとも解せない状況です。ま、それはさておき、例会の報告を・・・

今回は、カード当てマジックについて少し考え、お客様に1枚のカードを選んで頂き、そのカードをコントロールして特定の位置にした後の当て方を紹介しました。

そのあとで、秋の大会で演じる予定の演目をプレリハーサルさせて頂きました。

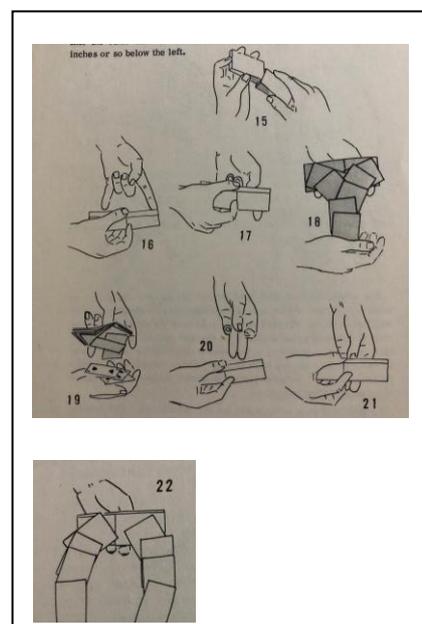
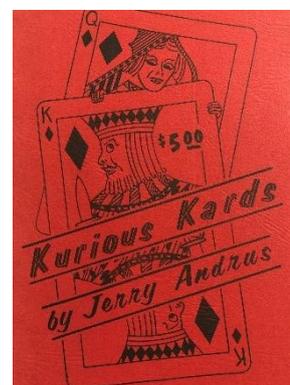
1) Kurious Kards by Jerry Andrus

今年2月に児玉邸にお邪魔し、非常に興味深い冊子をお譲り頂きました。私が尊敬するマジシャンというか、トリックメーカーであるジェリーアンドラスさんの技法の冊子です。実際には非常に難しい物が多く、再現できない物が半分以上ありました。その中から、比較的簡単にできる物を2点紹介しました。あくまでも、カードを当てるためだけの見せ方なので、そのあとの片付けについては考えられていません。

解説するより、挿絵のほうがわかりやすいと思うので、冊子からそのまま掲載させて頂きます。

まず、図15-18は、デッキのボトムに選ばれたカードをコントロールし、パーフェクトフェローでカードを1枚ずつ交互に挟み込みます。そして人差し指と小指の間からカードを落とすときれいに落ちて最後に1枚が残るといふ物です。(アンドラスは手が指の関節1つ以上大きいので日本人には少し困難かもしれません)

次に、図19-22ですがこれも同様に、デッキのボトムに選ばれたカードをコントロールし、パーフェクトフェローでカードを1枚ずつ交互に挟み込みます。こんどは、中指と薬指を伸ばし、その二本と親指でカードを保持します。小指と人差し指は曲げてデッキを支える状態になります。デッキを押さえている親指を緩めると、カードは徐々にタキのように流れていき最後の1枚が手に残ります。



このほかにも、別のあてかたとして、ピットハートニングの方法をチラ見せしましたが、こちらの方が皆さんには人気だったようです。こちらはコツがあり、文章にし辛いため、例会記録の動画をご参照ください。

2) FISM' 94 ルーティン

さいごは、私が1994年のFISM横浜のコンテストで演じたものです。

これは、1990年クローズアップ大賞でチャレンジした演技をブラッシュアップしたものでした。

タネの部分については割愛しますが、大まかな流れを紹介させていただきます。



①つかみ（ジョークグッズ）

お客様1人にお手伝いをお願いします。このとき、「心臓は強いですか？」と聞いておきます。そして、テーブル上の赤、青の二つのデッキを示し、どちらか一方を選んでもらいます。そこで、選ばれたデッキを取り上げると……Bang! 激しい爆発音が起こり、第1の驚き(マジックではありません)が起こります。(すかさずデッキチェンジ)

②第2の現象（原案：色変わりデッキ/蓮井彰）

再びお客様にデッキを選んでもらうのですが、先ほど選ばれた紅いデッキが選ばれます。恐る恐るデッキを持ち上げます。今度は大丈夫のようです。選ばれた赤いデッキケースから赤いカードを取り出します。「ではこの赤いカードをつかって……」といているうちに赤いカードは、青いデッキケースに変化してしまいます。

③カード当て（トライアンフ/ダイバーノン）

青いデッキケースからカードを取り出し、1枚のカードを選んでもらいます。そのカードをデッキの中に入れ良く切り混ぜて、スプレッドすると1枚だけカードが裏返っています。そのカードがお客様に選んでもらったカードであることを見せます。(ここでこっそりデッキチェンジ)

④ワイルドカード（原案：ピーターケイン、改案：フランクガルシア）

お客様の選んだカードは一旦テーブルわきによけておき、残りのデッキから数枚のカードを選んでもらうよう指示します。このときデッキを半分に分け、表組から3枚、裏向きから3枚を選んでもらいます。残りのデッキは裏面が見えるようにして全体を重ねます。テーブル上の6枚と、お客様に最初に選んでもらったカード1枚を加えた7枚で、ワイルドカードを演じます。ここでは、高木重朗さんの方法を使っています。



⑤クライマックス

選ばれた6枚のカードがすべて最初に選ばれたカードと同じカードに変化した時点で、テーブルわきのデッキを持ち、スプレッドします。するとそれらもすべて同じカードに変化

しています。

第6回クローズアップ大賞、FISM'94では、この後にパケットトリック→カラーチェンジングデッキを行い、ダブルクライマックスとしましたが、複数の方から不要ではないかというご意見も頂いたのでシンプルにしました。

フルルーティンを見てやっても良いぞという方は、以下を見て頂ければと思います。

28年前の映像です。 <https://youtu.be/ntpGxMGG2K8>

今回この演技を見て頂いたのは、秋の発表会でステージ上で演じさせて頂く予定の物で、リハーサル前に、プレリハーサルとして、生で見て頂きました。

◆ 連絡報告事項

阿部徳蔵『とらんぷ』新装改訂版刊行について

梶田明宏君

[01:35:18](#)

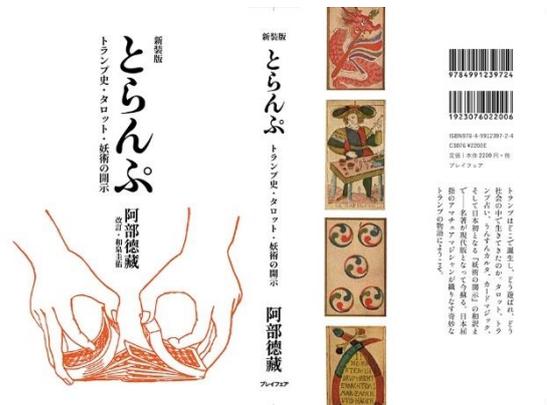
当会第二代会長阿部徳蔵の名著『とらんぷ』（昭和13年）の新装改訂版がこのたび出版されましたので、紹介します。

改訂を行ったのは「和泉圭佑」というカード研究家で、プレイフェアという会社でカード販売をしている方です。

旧かな・旧字体を現代のかな・漢字に改めたほか、西洋人名表記を現代風にしたリ、「強制法」を「フォース」にするなど、一部専門用語を現在の用語に置き換えるなど、文意を損なわない範囲で現代人に読みやすくなっています。

あとがきにTAMCの多大な協力に感謝する旨の謝辞が書かれていますが、企画に当たって当会に打診があり、阿部徳蔵に関する情報提供をしたことと、解説に書かれた阿部徳蔵の経歴について意見を伝えたりしました。

定価は2200円+税で、プレイフェアのホームページ、またはAmazonで購入することができます。残念ながら一般書店では購入できません。



TAMC 会報 2022 年9月号

記録・編集 田澤利明